

# イスラムで **ビール** は許されない **バドワイザー販売禁止** **賠償問題？**

加藤良一 2022年12月1日



FIFAワールドカップ・カタール大会では、開幕直前になって、スタジアム内でのビール販売が突然禁止された。長年公式スポンサー契約を結んでいるバドワイザーは、今回もFIFAと7600万ドル(108億円)の契約をしているが、試合会場で売れる見込みのなくなった66億円もの大量のビールが不良在庫となってうず高く積み上げられている。

イスラム教国のカタールでは公共の場での飲酒は禁止だが、当初はワールドカップ開催スタジアムでは公式スポンサーのバドワイザーが販売されることになっていた。ところがFIFAは直前の11月18日になってスタジアム内や周辺では販売を禁止すると発表。これは、主催国カタールの圧力に屈したとの声もある中、ジャンニ・インファンティーノFIFA会長は



「1日に3、4時間ほどビールを飲めなくても死ぬことはない」などと強弁したらしい。

もちろんこの決定に、バドワイザー側は黙っているわけもなく、補償を求めるといふ。今回用意されたビールはワールドカップの特別仕様品で、500ml約2,000円という…(;’;)。

バドワイザーでは『お祝いがあるところには、必ずバドワイザーがある』という精神に基づき、優勝国にお祝いとして届けたいと述べた。しかし、どれだけの量をどのように届けるかは明らかにしていない。

## バドワイザーのお陰で観戦できた1998年フランス大会

日本が初めてワールドカップに出場した1998年のフランス大会のチケット争奪戦は大変なものだった。家族総出で八方手を尽くしたがまったく入手できなかった。そこへ現れたのが、バドワイザーの観戦キャンペーンだった。スポンサー枠でキープしている席だ。

最後の頼みの綱として大量にビールを買い、キャンペーンに申し込んだところ、幸運にもチケットが当たった。ただし、チケットは1枚のみ。通常料金の半額を出せば追加もできるという。大のサッカーファンでもあった息子を残して行くことはできないと、2枚申し込んだ。

ようやく手に入れたチケット、その試合は、日本が2敗して臨んだ最後の戦い、対ジャマイカ戦だった。しかし、願いも虚しく敢え無く負けて3戦全敗で終わってしまった。ただ、唯一の救いは日本代表のワールドカップ初となるゴールをゴン中山雅史が決めてくれたことである。 gon は、3試合すべてで先発し、闘志溢れるプレーを見せてくれた。

「骨折しながらもゴールを決めた」「ゴールと引き換えに骨折した」などといわれていたが、実はゴール直後に相手選手との接触で足を骨折してしまいがちながらも、試合終了のホイッスルが鳴るまでプレーし続けたことで、その闘志を称賛して話が少々盛られてしまった感じだ。

## 2022年のバドワイザー・タンブラー



この金属製のタンブラー、冷たいビールを注ぐと図柄がくっきりと浮かび上がってくる。ビールがちょっぴりおいしくなる！

昔の話はともかく、喫緊の課題は日本時間の明日12月2日早朝4時に迫ったスペイン戦である。日本代表は初戦こそ強豪ドイツを破りはしたが、2戦目のコスタリカに負け、決勝トーナメントに進むには負けることが許されない崖っぷちに立っている。

グループリーグを勝ち抜けるための何通りものパターンが予想されているが、しょせん他力本願では先は覚束ない。選手は己を信じ、4年間の総決算の積りで強豪スペインに立ち向かうしかない。

朝からビールでもないだろうから、コーヒーを淹れて観戦しよう。

【関連記事】

FIFAワールドカップ・カタール大会 (PDF:2022/2/7)

[http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s19\\_fifa\\_w-cup2022.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s19_fifa_w-cup2022.pdf)

食の町リヨンの味も忘れて (PDF:2002/7/13)

[http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s6\\_shokunomachi\\_lyon\\_no\\_ajimowasurete.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s6_shokunomachi_lyon_no_ajimowasurete.pdf)



SPORTS Top^



Home Page^